

扇小 元気な作品集

令和6年度(50周年)

国際交流がさかんな さいたま市

さいたま市の海外姉妹・友好都市について5つの国は?
 中華人民共和国・ニュージーランド・カナダ・メキシコ・アメリカ合衆国

海外姉妹・友好都市とは?
 自由、気軽に付き合え、市民や民間交流団体が主体となって実質的な交流を行うことを相互の都市が意思確認した都市のこと

さいたま市に住む外国人の数は?
 平成26年から令和2年までは、約1万人ほど増えているが、令和2年から令和4年にかけては、200人ほど減っている。
 (中国人が多数)

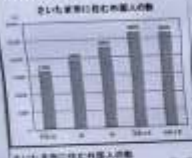
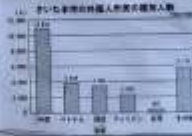
さいたま市の国際交流は?
 スポーツ交流(野球、サッカー)や、日本文化の体験、外国語教室、日本語教室などがあります。

交流とは?
 互に行き来すること、特に異なる地域・組織・系統の人が行き来すること。また、その間ではさまざまな物事のやりとりが行われること。

姉妹都市となって、国際交流しているのは、市民の異文化に対する理解と認識を深め、自らの生活や地域社会・文化の再構築を図ることになる。交流を行うことにより心と心のふれあいをもち、国際社会に貢献する人間形成を行うこと。

ボランティアとは?
 仕事、学業とは別に地域や社会のために時間や労力、知識、技能などを提供する活動

おたがいを理解し合い共に生活する。
 外国の人たちのためにボランティア活動し、交流活動を始め、おたがいの生活を理解し合い共に生活する。

4年生の廊下に貼ってありました。社会の時間に、さいたま市の国際交流についてまとめたものです。写真やグラフは切って貼ったようです。